

ケヴィン・ケナー & 山辺 絵理

ピアノデュオリサイタル

Kevin Kenner & Eri Yamabe Piano Duo Recital

夢叶う、聴く喜び…5年に1度のショパン国際ピアノコンクール審査員
師弟による2台ピアノコンサート!

2台ピアノ プログラム

Program for Two Pianos

ショパン/「ドン・ジョヴァンニ」の
「お手をどうぞ」の主題による変奏曲 Op.2
F.Chopin / Variations on "Là ci darem la mano" from Mozart's
"Don Giovanni", Op. 2

ショパン/アンダンテ・スピアナートと
華麗なる大ポロネーズ Op.22
F.Chopin / Andante spianato and Grande Polonaise Brillante, Op.22

ショパン/舟歌 Op.60 (ソロ:ケヴィン・ケナー)
F.Chopin / Barcarolle, Op.60 (solo: Kevin Kenner)

ブラームス/5つのワルツ Op.39
J.Brahms / 5 Waltz, Op.39

ブラームス/ハイドンの主題による変奏曲 Op.56b
J.Brahms / Variations on a Theme by Haydn, Op.56b

ショスタコーヴィチ/2台のピアノのための
コンチェルティーノ Op.94 他
D.Shostakovich / Concertino for Two Pianos, Op.94 etc.

2025年
3 / 17 月

18:30開演 18:00開場

横浜みなとみらいホール 小ホール



横浜みなとみらいホールチケットセンター

<https://minatomirai.pia.jp/>

TEL 045 682 2000

電話10:00~17:00 窓口11:00~19:00

後援: 株式会社 スタインウェイ・ジャパン STEINWAY & SONS
一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)

チケット
全席指定

S席8,000円 A席6,000円

主催/お問合せ: 株式会社Dr.Cherry

dr.piano@aol.com

チケットぴあ

<https://t.pia.jp/>
Pコード284092



E+ イープラス

<https://eplus.jp/>



※未就学児はご入場いただけません。

5年を超える長い月日を経て、ようやく大好きな日本のみなさまと再会して
音楽をともに楽しめるこの機会を嬉しく思います。

なにより今回は、ロンドンの英国王立音楽大学で教鞭を取りはじめたころの学生と
一緒に演奏できるとあって、わたしは胸がいっぱいです。
すばらしい音楽家になられた山辺絵理さんのような教え子と再びご縁をつなぐことが
できるとは、これほど指導者冥利に尽きることはありません。
このまたとない機会をぜひ一緒に楽しみましょう！

ケヴィン・ケナー

After a long hiatus of more than 5 years, I am delighted to return to my beloved friends in Japan and share my music once again. And it is especially heartwarming that on this occasion I can share a performance with one of my former students from my earliest years as a teacher at the Royal College of Music in London. Nothing can be more gratifying for a teacher than to reunite with a student who has over the years become such a consummate musician like Eri Yamabe.

I invite you to celebrate this event with us!

Kevin Kenner

ケヴィン・ケナー先生の薦めで英国王立音楽大学に留学する2年前、
初めてのレッスンをご自宅で受けました。

その時の衝撃と憧れから、先生の”核心に触れる音楽”への長年の探究がはじまりました。
呼吸を合わせる2台ピアノのアンサンブルとして、その一端を表現できれば幸いです。
多くの方々にご支援いただき”夢のピアノデュオリサイタル”を開催できますことに、
心から感謝を申し上げます。

山辺絵理

ケヴィン・ケナー Kevin Kenner

米カリフォルニア出身のピアニスト。1990年ショパン国際ピアノコンクール(ワルシャワ)での最高位(聴衆賞、ポロネーズ賞を同時受賞)、国際テレンス・ジャッド賞(ロンドン)、チャイコフスキー国際コンクール(モスクワ)での銅賞受賞(ロシア作品最優秀演奏賞を同時受賞)。それに先立つ1988年にはジーナ・バッカウアー国際ピアノコンクールや1989年ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールでも輝かしい成績を残した。ハレ管弦楽団、BBC交響楽団、ベルリン交響楽団、ワルシャワ・フィルハーモニー、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、ベルギー放送フィルハーモニー管弦楽団、NHK交響楽団等の世界的に著名なオーケストラと共演。録音も数多く行っており、ショパン、ラヴェル、シューマン、ベートーヴェン、ピアソラと多岐に渡る。国立ショパン研究所レーベルで録音したショパンのソロ・ピアノ作品集は、フランスのディアパソン誌にて5つ星を獲得。ポーランドで室内楽カテゴリーにおいて最優秀賞の“フレデリック賞”を授与。2011年以降、ヴァイオリニストのチョン・キョンファからの熱烈なオファーを受け、デュオパートナーとして世界ツアーに参加。“美しく穏やかな真珠のような輝きを放つピアニズム”(英・テレグラフ紙)と絶賛されるなど、キョンファのヴァイオリンを引き立てつつ存在感を放つアンサンブルは彼の高度な美的音楽性を聴衆に再認識させている。2015年ショパンの2つのピアノ協奏曲 室内楽版(ピアノと弦楽五重奏)をポーランドのナショナルエディション版として出版。英国王立音楽大学教授を経て2015年9月より米国マイアミ大学フロスト音楽校教授。2025年第19回ショパン国際ピアノコンクール審査員。

山辺 絵理 Eri Yamabe

3歳よりピアノを始める。同世代の日本人ピアニスト中トップランナーとして幼少期より日本のピアノ音楽界を牽引。13歳でアメリカにて初の海外公演、14歳で東京にて初のソロリサイタルを開催。東京音楽大学ピアノ演奏家コース3年在学中の2001年より、ケヴィン・ケナー氏の薦めでロンドンの英国王立音楽大学に企業3社からの海外留学生奨学金を得て留学。東京音楽大学ピアノ演奏家コースと英国王立音楽大学大学院アーティストディプロマコースを首席で卒業。英国王立音楽大学より”ジョン・ホブキンソン特別メダル”を授与。ヨーロッパ各地の国際コンクールにて数々の賞を受賞し、ロンドンを拠点に世界14カ国に於いて演奏活動を行う。ポーランド国立放送交響楽団、同国立ポメラニアン交響楽団、同国立クラクフ室内管弦楽団、チェコのヤナーチェク・フィルハーモニー管弦楽団他、オーケストラとの共演も数多くその多彩な極めて美しい音色の、感性溢れる演奏は聴衆を魅了してやまない。2011年4月より拠点を東京に移し、国内外での演奏活動の傍ら後進の指導にあたる。ショパン国際ピアノコンクールin ASIA等、コンクールの審査員を務める。スタインウェイ・アーティスト、全日本ピアノ指導者協会正会員、日本演奏家連盟会員。東京音楽大学講師。



横浜みなとみらいホール

〒220-0012
神奈川県横浜市西区みなとみらい2丁目3-6

◆アクセス

みなとみらい駅(東急東横線直通/みなとみらい線)/クイーンズスクエア横浜連絡口より徒歩3分
桜木町駅(JR京浜東北線・根岸線/横浜市営地下鉄)/動く歩道からランドマークプラザ経由でクイーンズスクエア1階奥、徒歩12分

